

そよかぜ 1月園便り

令和4年1月4日（火）

西東京市立そよかぜ保育園

新年 あけまして おめでとうございます。

昨年は少しずつではありますが、年長さんの園内お泊り・夏場のプール遊び・季節ごとの収穫物での調理保育など実施できる活動も増えて、子どもたちのはじける笑顔がより多く見られました。さて、今年はどうなワクワクドキドキを子どもたちに体験させてあげることができるでしょうか。ここが私たちの腕の見せ所です。（かなりハードルを上げました…）

どんな環境においても、子どもたちの「やってみたい!」「楽しい!」「面白い!」「もう一回!!」の気持ちがあふれてくるような保育（活動）を実践していきたいと思えます。

子どもたちが日々生き生きと楽しく過ごすのはもちろんですが、その姿を保護者の方々にも見ていただきたい!というのが私たちの切なる思いです。

昨年は後半から各クラスの個人面談を実施してきましたが、その中でも殆どの皆さんがおっしゃっていたのが「子どもたちの園での様子が見たい!」ということでした。

日頃から連絡ノートや送迎時のやりとり、また写真やホームページを使って保育の様子をお伝えしていますが、やはり実際の姿を見ることで我が子だけではないお友だちとの関わりだったり、今クラスはどんなことに興味を持ってどんなことに一生懸命なのかというような全体的な様子も分かっていたらと思います。

少し前に後期の行事予定をお知らせした際に、1～2月に保育参観・保育参加を計画していると記載しましたが、今どのような形なら無理なく皆さんに普段の子どもたちの様子を見ていただけるのかを検討中です。

今月は「親子遊ぼう会」や「お父さん懇談会」も計画しているので、子どもたちだけでなく、保護者の皆さんともたくさん触れ合う（もちろん実際に触れるのではなく、コミュニケーションをしっかりとっていくということ）機会になると良いなと思っています!

2022年も保護者の皆さんと一緒に、子どもたちのはじける笑顔がたくさん見られる1年になりますように。今年もよろしくお願ひ致します。

.....

< 餅つき会 12/22 >

昨年初めて、餅つき会の際に“鏡餅”を作りました。



クラス通信



お正月は家族揃って楽しい時間を過ごされたことと思います。これから、子ども達がどのような成長を辿っていくのか喜びと期待で心が弾みますね。

散歩先では行動範囲が広がって一人ひとりの行動も活発になり、大人が「まで～まで～」と追いかけるのもなかなか大変になってきました。口歌リズムの歌を歌うと、すぐに身体を動かしてメダカやトンボなどになって走っていますよ。

寒さに負けず、冬ならではの自然に触れる機会を楽しみにしています。



新しい年が始まりましたね。お休み中はご家族でゆっくりと過ごされたでしょうか？この冬はゆっくり来ているようで、12月は比較的暖かい日が多く、お天気の良い日には歩いていくお散歩にたくさん出かけることができました。行きも帰りも「あるく～」と張り切っていますよ。散歩先では、大人と追いかけてっこをしていると、途中でかくれんぼになって大人や友達を探し始めます。少し遠くにいても「あっちにいるよ」と3～4名で一緒に元気よく駆け出し「み～つけた」と大喜びです。

これからどんどんと寒くなっていきますが、たくさん体を動かして遊び、健康にも気を付けて過ごしていきます。



新年を迎えましたね。寒さの厳しい日が増えてきましたが、外へ出て遊ぶことが分かる「タオル持ってきたよ！」「トイレ行ってくるね」と、見通して準備する姿も見られるようになってきました。朝や帰りは自分の荷物を用意し、自分で出来るが増えていきます。

また、お友達との関わりも更に増えてきています。“むっくりくまさん”や“トントントン何の音”、“劇ごっこなど、やり取りを重ねながら、みんなで楽しく遊んでいるすずめ組です。これからも、お友達や大人と“楽しい”を積み重ねていく中で、みんなで一緒に育ちあっていきたいと思います。

今月はたくさん身体を動かして遊んでいき、お正月遊びにも触れて楽しんでいきます！



登園して「手がつめたいよー」と大人の背中中で両手をこすってきたので「こーども風の子、じじばば火の子」と身体のさすり合い。「今日は、いこいの森まで行って落ち葉の掛け合いして遊ぼう」と声をかけると「さむいよー！」「大丈夫、こんな日は外に出て体を動かして遊ぶのがいちばん」と出かけました。歩いていると土がキラッと光るのを見つけ「あっ！霜柱だ」「つめたい、つめたい」と手に取って確かめ、踏んで確かめ感触を楽しんでいましたよ。公園に着くと落ち葉の掛け合い、着ていた防寒着を「あつい、あつい」と脱ぎ“落ち葉山”に大胆にダイブし笑い声が響いていました。

年内最終日の午後は、自分のロッカーを雑巾で拭いて大掃除。「もっと拭きたい、どっか拭くところない？」と自然と床拭きをして部屋ピカピカになりました。

今月も寒さに負けず元気に冬の不思議をたくさん探しに行きたいと思います。



クリスマスにサンタさんから竹ポックリをもらったつばめ組。年長さんがカボカポと音を立てて歩く姿をよく見ていたので、もらったプレゼントを見てすぐに、「はやぶささんみたいだね！」と嬉しそうに話していましたよ。早速園庭に出て、竹ポックリに挑戦！初めは1歩1歩、ゆっくり慎重に進んでいましたが、園庭を往復して歩いているうちに、だんだんとコツを掴んでできていました。これからもたくさん竹ポックリで遊んでいきます。

一段と寒くなり、散歩先に着くとまずマラソンをして身体を温めてから遊び始めています。体力もついてきて、最後まで走り続ける子も増えてきました。

1月も寒さに負けず、たくさん体を動かしていきます



先月の園便りにて「マラソンで身体を温めながら遊んでいきます。」と宣言しましたが、毎度散歩先に着いたらまずマラソン！いつもみんなで目標を決めると共に、“目標達成までは疲れても止まらず歩いて最後まで行こう”と決めて出発。しかし目標は毎度忘れてしまう程。例えば“いこいの森”でのマラソン。ジョギングコースを「二周走ろう！」とスタート。(一周＝雑木林まではいかず、見渡せる範囲のジョギングコースです。)

先頭で走ってたお友達は走り終え、少し休憩しているうちに、「もう一周走ってくる！」と追加で走り出します。その次に走り終えてきたお友達は、追加で走り出したお友達の様子を見て、“じゃあわたしも”とつられて走り、無限ループに入ります、、、。そこからは自分で目標を決めて、「五周走ったよ」「七周もがんばったよ」と嬉しそうな声があがりますよ。今月は鬼のお面製作が始まります。どんな鬼が完成するかお楽しみに！！

1月 園行事

6日(木) 5才 七福神巡り
11日(火) 鏡開き
13日(木) 布団乾燥
5オクラス懇談会
17日(月) 5才藤井先生ピアノ鑑賞
18日(火) 年長二園交流保育
19日(水) 4オクラス懇談会
21日(金) 避難訓練

25日(火) 誕生会
3オクラス懇談会
27日(木) 味噌作り
29日(土) 親子遊ぼう会／父親懇親会

※詳細は後日お知らせします

クラス懇談会について

場所：ホール

時間：17：00～18：00

新年のお喜びを申し上げます

♪ おおさむ こさむ やまから こぞうが とんできた
なんと いった とんできた さむいとあった とんできた ♪

辺り一面が白く 霜柱がによっきり パリパリと靴底から聞こえる音
肌を突き刺すような冷たい風に思わず 肩をすくめた朝

年明けです。今年はどんな一年になるのでしょうかね。元気な毎日でありますように。

年神様を迎え旧年の豊作と平穏を感謝し、今年の豊作と平安を祈願し、神への供物として捧げたおせちを頂き、普段とは違った遊びや御馳走を頂いたお正月 それは特別な「ハレ」の日です。

せり なずな (ぺんぺんぐさ) ごぎょう (ははこぐさ) はこべら (はこべ)
ほとけのぞ (こおにたびらこ) すずな (かぶ) すずしろ (だいこん)

正月 7 日には一年の邪気を払うよう願いを込め、七草を食べます。

この習慣は鎌倉時代にはすでにあつたようです。お正月に食べ過ぎた胃を休めるということもあるのですが、もともとは寒い時期に体調を整えるための薬草として食べていたとも言われます。

冬に不足しがちなビタミンを補い、健康を願い、受け継がれてきたものです。

「唐土の 鳥と 日本の 鳥が 飛び交わさぬうちに なずな カチカチ・・・」と唱えながら
まな板の上で、包丁ならしていた母の姿を思い出します。

再び新型コロナウイルス・オミクロン株の市中感染が広がりつつあります。

今一度 ひとり 1 人が行動を見直しましょう。

今年もよろしくお祈いします

職員のつぶやき

最近興味を持ち始めた手帳。今まで何度も新年になる前には購入することがありましたが、続かない性格なこともあり、次第に書き込むことを忘れてしまい、真っ新にしていることがよくありました。その為、今回は予定を書き込むだけでなく、その日あったことを記してみることに…。12 月から始めてみましたが、その日あったことを分かりやすくまとめるのはなかなか難しい。仕事の日となると自分の反省しか出ない日もある中、手帳と向き合うと嬉しかったことや子どもたちとのやり取りで面白かったことなど、考えてみると色んなエピソードが出てきて、いつもマイナス思考になりやすい私が、“違う視点で考えられるのか”ということが新たな発見でした。今回手帳を始めたきっかけは、様々な文具を集めて“可愛くアレンジをしてみたい”という単純なことでしたが、あつという間に過ぎていく日々の中、少し立ち止まり振り返る時間は、小さな出来事を思い出し、今の自分と向き合う時間となっています。今年は、なんとなく毎日を過ごすのではなく、楽しみを作って、小さなことに喜べる一年にしていきたいです。

そよかぜ保育園 野口沙稀